

(別紙) 宿泊療養施設で活用する予定のロボット等

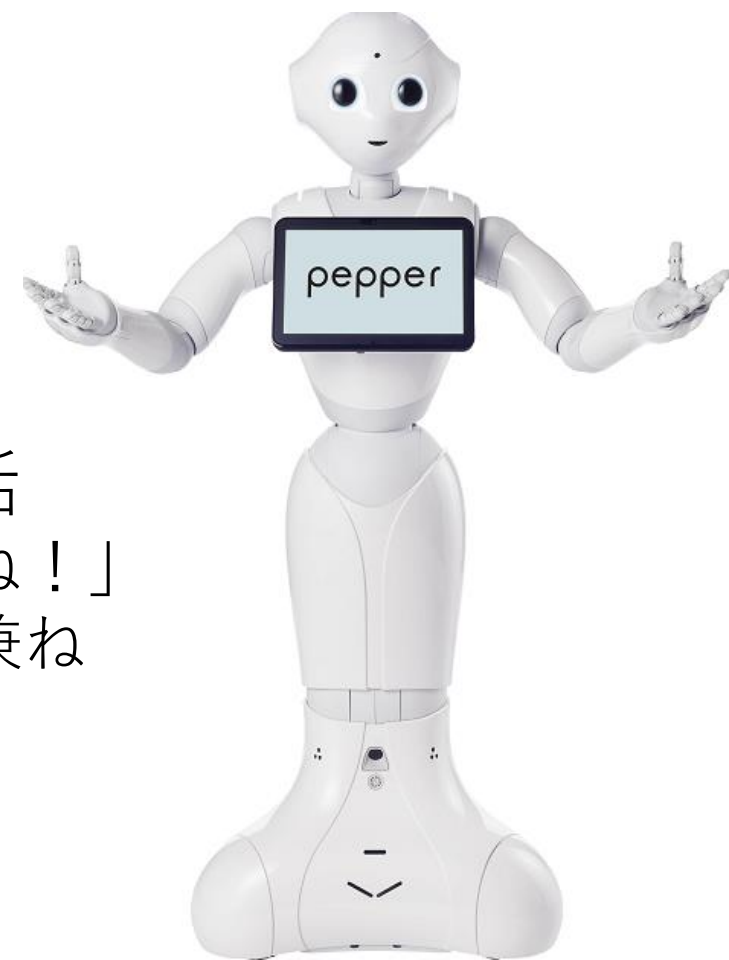
以下のとおり、お掃除ロボットや入居時のお出迎えロボット、入居者・看護師の負担軽減につながるスマホを活用した健康管理アプリケーションを導入します。



AI清掃ロボット「Whiz」
© SoftBank Robotics

◀お掃除ロボット

- お弁当や物資の受取場所であるホテルロビーの清掃を最先端AIによる自律走行で正確かつ効率的に清掃します。
- 空間浮遊菌量の削減にも効果あり
- 職員の出入りが制限される“レッドゾーン”で活用します。



人型ロボット「Pepper」
© SoftBank Robotics

お出迎えロボット▶

- 入居時にお出迎えし、様々なメッセージを発話
例「みんな応援してますよ！ゆっくり休んでくださいね！」
「何か不安なことがあれば、看護師やスタッフに気兼ねなくご連絡くださいね！」



Microsoft Power Apps

◀健康管理アプリケーション

- モバイルアプリを活用し、個人の日々の体温等の体調の変化を記録
- これまで担当職員が1日2回電話で確認した上で手作業で入力していたデータをシステム化により集約
- 入所者の方々にとっては電話待ちや電話のやり取りの時間が無くなるなどの軽減が図られるとともに、データを自身の健康記録として残すことも可能

※ 参考画面は開発時のイメージですので、実際の運用画面と異なる場合があります。